

第25号

発行日  
2021. 3. 12

# Super Highway

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

バス開申  
第6号

シェアールバス関東本部「2021年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」

## 第1回交渉(趣旨説明)を行いました!

- ・「ベア6000円」の根拠は、ベア2%程度の連合方針を踏まえた、JR 総連春闘として、JR 総連・平均基準内賃金 298,997 円の2%程度にあたる要求である。
- ・コロナ禍で大きく変化する情勢を踏まえ、事業継続と雇用の維持を最優先に、今後の事業運営について、労使がより建設的に議論を積み上げていく事が重要だ。
- ・安全で安心してご利用いただくための努力は惜しまず、与えられた業務の質を高めている。
- ・同業他社や他業種への出向に対してや、2月13日に東北地方で発生した地震による新幹線代替輸送にも対応し、赤字とコロナ禍を乗り越えるために奮闘をしている。
- ・雇用の確保については、最優先事項として認識一致を図るべきだ!
- ・コロナ終息後の立て直しを計画する上でも組合員・社員のモチベーションを高めていくことは必須だ。「物価上昇」「生活向上」の観点と合わせ、高まる労働力の価値を評価し、「十分な人への投資」を行うべきだ!

**「雇用確保」「定期昇給確保」「ベースアップ」を強く求める!**

組合員からの書が  
バス関東本部に続々と  
寄せられています



### 会社の現状認識

- ・第3四半期決算はコロナ禍における大幅な減収から、回復の兆しが見られない。37億円あまりの営業損失。今年度の決算において赤字は免れない認識を持っている。
- ・今年度は創業以来最悪の赤字決算になることは、ほぼ確定的であろうと認識を持った中での厳しい交渉にならざるを得ないのが現時点での認識である。
- ・コロナ禍で、感染対策に取り組み1年余りが経つ。この間、職場内のクラスターなどの感染防止に取り組んでいただいている組合員・社員のみなさんには感謝を申し上げたい。
- ・ベアは業績が厳しい業種には求めないと認識している。当社は飲食業、観光業に次ぐ厳しい業種であるという認識。
- ・業務量の大幅な減少で、特に65歳以降の延長については、今回ご勇退いただくという大変厳しい決断をせざるを得ない状況に陥っていることも重ねて触れたい。

**厳しい時だからこそ、企業の持続的発展のために  
高まる労働力の価値を評価し、人への投資を!!**